



並木中等story

令和4年11月29日号

そうせざるを得ない理由がある

「何事にも理由があるんだよ。」私に教育相談を教えてくださいました先生はそのような話をしていました。その時は、夜の8時ころで何人かがオートバイに分乗し爆音を周囲に響かせていました。彼らにも“そのようにする理由があるはず”というのです。本人は気付いていないかもしれないが、そうしないと自分のバランスを保てないのではないかなと話されていました。彼らも迷惑をかけているのは知っています。「それでもいい。」と思っているのではないのでしょうか。たぶん、そうせざるを得ない状況なのでしょう。



この話、暴走族だけではなくありません。私たちにも言えます。怒りで何もしたくない時、悲しくて何もできない時があります。そのような時は「そのようにさせる理由は何？」と自分に聴いてあげてください。そして、理由を紙に書いてみてください。

自分が怒っている、悲しんでいる理由をまとめると、少し気が楽になると思います。「ああ、私はこんなことで怒っているんだ。」「私はこんなことで悲しんでいるんだ。」これに気付くことが解決の糸口になることが多いものです。

《祝 JSEC2022科学技術チャレンジ最終審査会出場！》

JSEC2022第20回高校生・高専生科学技術チャレンジ最終審査会に、本校5年野末さんが出場することが決まりました。研究タイトルは「持続可能な社会の実現に向けて～竹繊維を用いてヒートアイランド現象から地球を救う！！～です。

おめでとうございます。